

賃貸革命 10

元号改定に伴う対応のご案内

2019 年 5 月 1 日の元号改定に伴い、操作上変更が生じる部分および必要な作業の手順についてご案内いたします。

◆対象製品

賃貸革命 10

[帳票デザイナー] 画面に「書式確認ツール」が追加されます (p.2)

[帳票デザイナー] 画面に「書式確認ツール」が追加されます

2019年5月1日に施行される元号改定後、帳票内で登録内容に応じて自動で和暦表示を行う書式項目を配置している場合は新元号が表示されますが※、「平成」を含む文字列を常時表示する書式項目には新元号が表示されません。

※表示される元号は、元号発表後の Windows Update により適用される予定です。

Windows Update が適用できない、もしくは適用されないお客様においては別途専用プログラムを提供いたします。
用意ができ次第、改めてお知らせいたします。

例

領書(2) 契約期間

平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで

<契約期間(年数)> <契約期間(月数)>

目的物件の開始時期

<契約期間開始>

「平成」を含む文字列を常時表示するので、元号改定後もそのまま「平成」と表示されます

登録内容に応じて自動で和暦表示を行う書式項目を配置しているので、元号改定後には新元号が表示されます

この場合、「平成」を含む文字列を常時表示する書式項目を検索し、必要に応じて修正していただく必要があります。

これに際し、該当する帳票および書式項目を確認することのできる「書式確認ツール」が追加されます。

次ページ以降の説明をお読みいただき、ご対応いただきますようお願いいたします。

操作手順

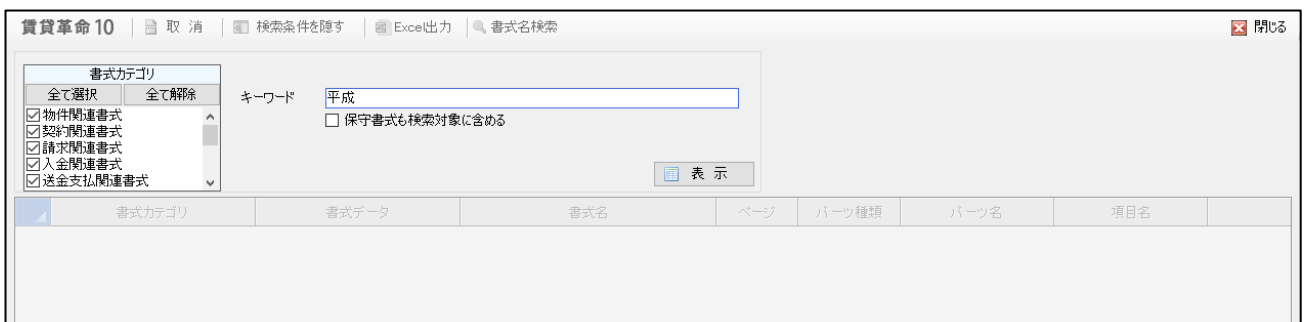
① [各種設定] - [帳票デザイナー] ボタンをクリックします。



② [書式確認ツール] ボタンをクリックします。



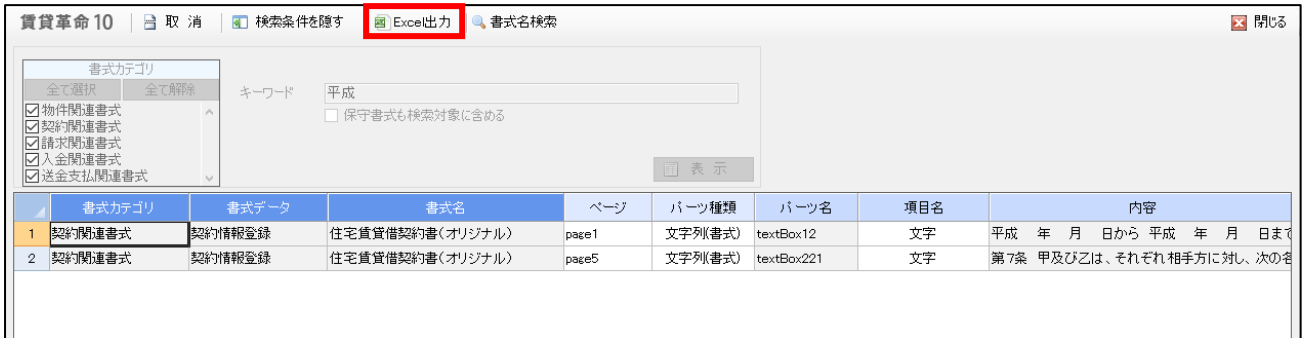
③ 検索条件を入力し、[表示] ボタンをクリックします。



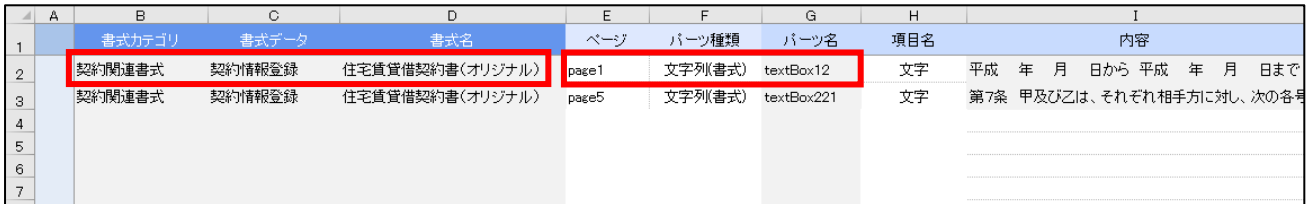
検索条件

- ・「書式カテゴリ」はすべてを選択する
- ・キーワードは「平成」を入力する
- ・「保守書式も検索対象に含める」はチェックを付けない

④ 検索結果が表示されたら「Excel 出力」をクリックします。



⑤ 出力した Excel ファイルを開き、修正対象の帳票および書式項目を確認します。



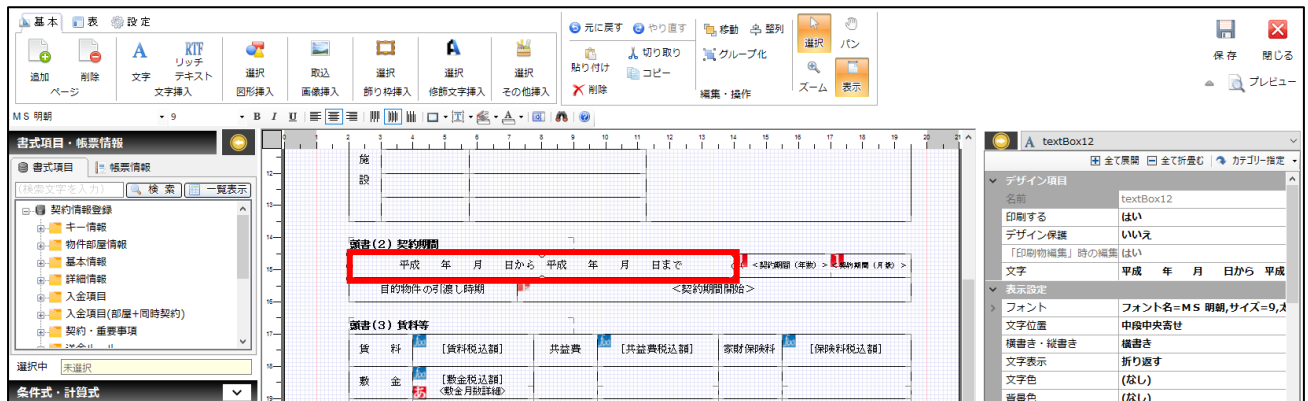
POINT

検索結果には、過去の条例施行日などについて「平成」を含む文字列が入力されている帳票が含まれていますが、これらは修正作業の必要はありません。

⑥ [各種設定] - [帳票デザイナー] 画面を開き、修正対象の帳票を開きます。

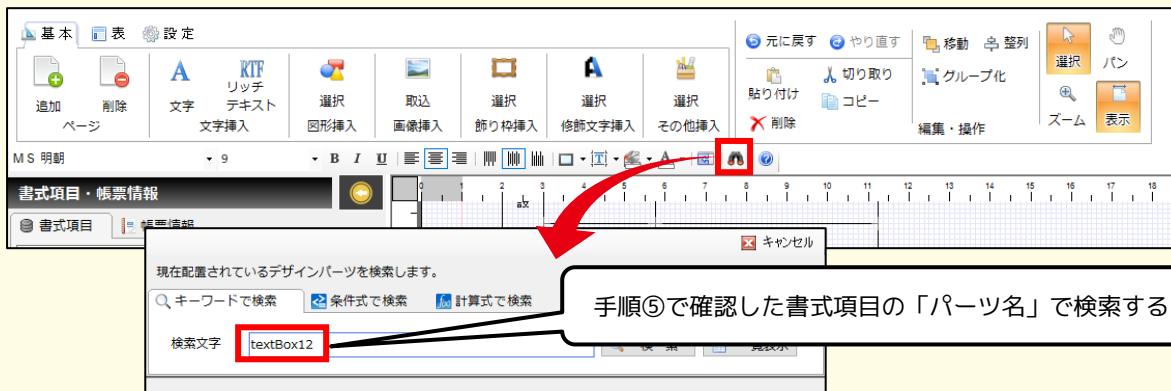


⑦ Excel ファイルで確認した、修正対象の書式項目を選択します。

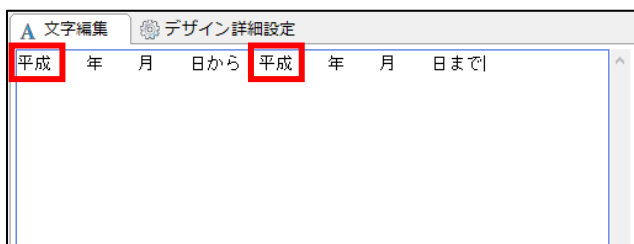


POINT

修正対象の書式項目が見つからない場合、検索アイコン（双眼鏡マーク）より検索画面を開き、「パーツ名」で検索することができます。



⑧ 「平成」と入力されている箇所を確認します。



元号改定後の表示方法に応じ、下記のいずれかの方法で修正します。

A：西暦での記載用に修正する

「平成」の文字を削除します。
必要に応じて位置や表示を調整します。

B：新元号に修正する

5月1日の元号改定後に、「平成」の文字を新元号に修正します。

⑨ 修正が済んだら [編集確定] ボタンをクリックします。

以降、手順④で検索した帳票に対して、手順⑤～⑨を繰り返します。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本情報クリエイト株式会社 コールセンター TEL：0120-044-145

受付時間：月曜日～金曜日 午前 9：30～午後 6：00 迄

但し、祝日、夏期休暇、冬期休暇は除く。

E-Mail：support@n-create.co.jp